

平成29年度 第7回
都賀地域会議会議録

平成30年1月31日(水)
栃木市都賀総合支所別館大会議室

栃木市総合政策部
都賀地域づくり推進課

別記様式

会 議 録

会議の名称	平成29年度第7回 都賀地域会議
開催日時	平成30年1月31日(水) 19時05分 開会 21時23分 閉会
開催場所	都賀総合支所2階大会議室
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職氏名	別紙1のとおり
その他出席者等	別紙1のとおり
会議事項	別紙2のとおり
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ 三室会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>②北部健康福祉センター(仮称)整備事業について(報告)</p> <p>〈説明〉 担当課に説明を求める。 資料等に基づいて説明する。</p> <p>〈質問・意見〉 担当課の説明を受けて、委員に質問・意見を求める。 北部健康福祉センター(仮称)の図面には、駐車場が広くないようだが、西方総合支所の駐車場も利用することは可能か。</p> <p>担当課 北部健康福祉センター(仮称)の駐車場には、乗用車22台分の駐車スペースがあり、その内3台分のスペースを身体障害者の方等が優先的に駐車できる思いやり駐車スペースとして確保している。また西方総合支所南側に56台駐車可能なので、西方総合支所の利用者との共用利用となるが、北部健康福祉センター(仮称)の駐車場に止めることが出来ない際には、こちらをお使いいただきたい。</p> <p>会 長 以前都賀地域会議から集団健康診断の際には、都賀地域から北部健康福祉センター(仮称)へバスを運行するなどの交通手段を用意していただくよう要望を出したが、どのような経過になっているのか。</p> <p>担当課 現在の状況では、都賀地域から個別に北部健康福祉センター(仮称)へバスを運行する等交通手段を用意することは難しい。北部健康福祉セ</p>

	<p>ンター（仮称）へ行く際には、ふれあいバスや蔵タクなどの公共交通機関をご利用頂きたい。しかし、健康診断の受診率の向上は、市としても重要な課題であることから、これからも都賀地域内で健康診断を受診できるようにしていく予定である。</p>
<p>委員</p>	<p>今後都賀保健センターがなくなった後などは、そこの跡地に建設された建物等で健康診断を実施し、北部健康福祉センターへ行かなくても健康診断が受信できるような環境にしていだけるといことか。</p>
<p>担当課</p>	<p>都賀地域内で健康診断を受診できる場所を1か所は用意する予定である。計画としては、2018年度、2019年度が北部健康福祉センター（仮称）の工事期間となるが、その間は都賀地域では年間9回健康診断を行う予定である。また北部健康福祉センター（仮称）の建物が完成する2020年度は、都賀地域内では6回健康診断を行う予定である。2021年度以降については、北部健康福祉センター（仮称）での健康診断の受診状況や都賀地域内での健康診断の受診状況等を総合的に勘案し、所管である健康増進課が都賀地域内の健康診断の実施回数を決定する予定である。以上のように次年度からいきなり都賀地域内で健康診断を実施しなくなるということはないのでご安心いただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>北部健康福祉センター（仮称）の完成予想図を見ると、付近にある木が表示されているが、北部健康福祉センター（仮称）が完成しても、この西方地域のシンボルとして残していくということによろしいか。</p>
<p>担当課</p>	<p>こちらの木はメタセコイアという種類の木である。こちらの木は西方地域のシンボルでもあるということ、工事の際に枝をある程度落とすことはあるが、切らずに保存する予定である。</p>
<p>委員</p>	<p>北部健康福祉センター（仮称）には、トレーニングルームがあり、そちらに指導員を配置するとのことだが、何名ほど配置する予定なのか。</p>
<p>担当課</p>	<p>北部健康福祉センター（仮称）は、オープン前なので現段階では利用状況の予測が出来ない状態である。オープン後に利用状況を見ながら効果的な運用方法を決めていくこととなるだろう。ただし利用状況に関わらず、トレーニングの効果の向上等を鑑み、指導員を1名は必ず常駐させることになると思われる。また、プールについても歩行用であっても事故が起きる可能性はあるので、こちらにもスタッフを最低1名は常駐させる予定である。</p>
<p>委員</p>	<p>イメージとしては、現在の栃木市総合運動公園のトレーニングルームのようなものだろうか。</p>
<p>担当課</p>	<p>大まかなイメージは、そのように考えていただいて問題ない。しかしトレーナーと一対一で行うパーソナルトレーニング等は、栃木市総合運動公園の指定管理者の自主事業であり、北部健康福祉センター（仮称）でも行われるかどうかは指定管理者も決まっていないことから未定である。今後決定する指定管理者がパーソナルトレーニング等の自主事業を行いたいとの提案があれば検討したいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>北部健康福祉センター（仮称）のバリアフリーについて、車イス利用</p>

<p>担当課</p>	<p>者や足腰が不自由な方は施設の2階に行けるような配慮はされているのか。</p> <p>北部健康福祉センター（仮称）の図面を見ていただくと、施設1階の北側にエレベーターが設置される予定になっていることがお分かりいただけると思う。こちらのエレベーターは15人乗り設計の広いものとなっており、車イス利用者の方たちにも安心してお使いいただけるようになっている。</p>
<p>会 長</p>	<p>北部健康福祉センター（仮称）も飲食関係について、長時間滞在する利用者も想定されるが、食事ができるような食堂を設置する予定はあるのか。</p>
<p>担当課</p>	<p>現在食堂を設置する予定はないが、施設2階に調理室等がある関係から施設内で飲食が可能なスペースは一定程度確保予定である。</p>
<p>会 長</p>	<p>これ以上担当課へ質問がないのであれば、本議事はこれにて終了し、担当課に退席いただくということでよろしいか。</p>
<p>委員一同 会 長</p>	<p>異議なしの声あり。</p> <p>それでは以上をもって本議事を終了とし、担当課には退席いただくこととする。</p>
<p>— 担当課退席 —</p>	
<p>会 長</p>	<p>①平成30年度提案分地域予算提案事業について 〈説明〉</p>
<p>会 長 事務局</p>	<p>事務局に説明を求める。 資料等に基づいて説明する。</p>
<p>会 長</p>	<p>〈発表〉</p> <p>来年度の地域予算を考えていくために事前に事務局より資料を送付し、委員全員に地域の課題や地域予算について考えてもらった。ここで多くの意見を出してもらい、その中から皆で意見を絞っていきたいと考えている。どのような意見でも発表してもらい、そこから議論を交わして内容を洗練させていきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>4点ほど発表させていただく。</p> <p>まず1点目として、つがスポーツ公園の補修と整備についてである。つがスポーツ公園は平成6年に整備された公園で、北関東自動車道の都賀インターチェンジにも近く交通の便がいい。また前年度は利用者が約2万人おり、その内30%が市外からの利用者であることから市内外から人気のある公園である。しかし、近年は公園内の施設の老朽化が激しく、テニスコートはラインが消え、コートが破損して使用できないコートまである。コートの補修についてもお金がないとのことで進んでいない状態である。また、各種大会等施設利用者の会議を行えるような場所がない状況であり、不便をきたしている。大平地域にある総合運動公園の管理棟には、会議を行えるような部屋が2部屋あり、そちらで施設利</p>

	<p>用者の会議や雨などの際に室内で活動できるようになっている。プレハブでもいいのでつがスポーツ公園にもこのような場所を設置すべきである。このような声は施設利用者からも度々上がっている。また、新品とは言わないが、大会や会議に使用できるような机や椅子なども配備すべきと考える。</p> <p>2点目として、通学路についてである。交通事故の発生が予期される箇所に対して、歩道の整備を実施するなど安全対策を早急に講じるべきである。子どもは地域の宝である。栃木市全体の中の危険度の高い箇所から順番に整備することが必要と考える。</p> <p>3点目として、都賀地域の図書館の利用促進についてである。都賀・西方地域の図書館の利用率は、栃木市の他の地域と比較して高くない状況である。数年前から指定管理者制度に変わり、身体障害者や高齢者・妊産婦等の図書館に来館できない方を対象に図書館の無料宅配制度や週2回ほど赤ちゃんと一緒に図書館に来館できる「赤ちゃんタイム」を実施する等の活動が行われているが利用者は多くない状況である。県内でも高齢化率の高い栃木市において図書館の利用率を向上させるためには、市の広報紙等を利用してこのような宅配制度の普及啓発が必要と考える。また、図書館内に都賀地域の小平浪平や勝道上人、刑部人等の偉人を知ることのできる地域を特集したコーナーを設けることも必要ではないか。以前日立市の図書館を訪れた際に小平浪平について等の地域を特集したコーナーがあり、非常に素晴らしいと感じた。市として市の偉人についてまとめた博物館等を作るのかもしれないが、図書館は図書館なりのものを作るといいと思う。</p> <p>4点目として、道路等のアダプト制度の普及及び制度活用の推進である。こちらの制度は、身近な公共空間である道路河川等の清掃のボランティア活動に対し、市が積極的に支援することで市民協働の推進を図るといったものであるが、知らない方が多くいる。自治会等を通してこのような制度の普及啓発活動を進めるべきと考える。</p> <p>高齢者が気軽に集まれるような場所を各地域1つくらい作るべきと考える。まずは都賀地域に生涯元気に暮らせるようにみんなの集いの場所を設けたらどうだろうか。イメージとしては、軽く食事もできるような歌声喫茶のようなものを考えている。</p> <p>合戦場小学校の東側に新しく建設された南北に伸びる都賀インターチェンジまで行けるようになる予定の道路について、この道路は横断歩道が極端に少ない。これから整備がされていく道路であるので仕方がないとは思いますが、平川・下新田地区等道路東側から通学する中学生が道路周辺の細い道からこの道路を横断して中学校に向かっている。しかし、その横断する付近には横断歩道がないため、横断歩道のない道路を横切って通学する姿を多く目にする。車両の通行も多いため、何か対策を講じるべきである。</p> <p>今回配付された「後世に残したい栃木市の文化資源48選」の41、4</p>
委員	

<p>委員</p>	<p>2ページをご覧いただきたい。こちらは西方地域の古城の跡地だが、こちらに掲載されているマップは、西方総合支所内の資料館にあるもので、合併前に西方村・西方町時代に専門家が調査してまとめたものだろう。都賀地域にもこのような古城の跡地はいくつか存在しており、都賀村・都賀町時代には西方地域のような調査を行っていないため、やってみてもいいのではないか。本来こういったものは教育委員会で行うもので、地域予算で行うべきものではないかもしれないが、提言させていただく。</p> <p>つがの里のふるさとセンターへ東側から入るとスロープがあり、車いすを利用されている方でもセンター内へ入ることが出来るようになっている。しかし、大広間へ入る際にはスロープがないため、車いす利用者が入ることが出来ない。車いす利用者が桔梗会のそばやうどんを食べる際には、ふるさとセンター東側から入ってすぐ右手にある特産品コーナーの近くに設置された机といすがある場所で食べていただく状況になってしまっている。この場所には、冷暖房設備がなく、車いす利用者に申し訳ない状況である。大広間へ車いすでも入ることが出来るようスロープの整備を検討してもらいたい。併せてふるさとセンター内には、おむつ替えスペースや身体障害者の方も安心して利用できるバリアフリー化されたトイレがないため、トイレの整備も検討してもらいたい。外の遊具についても、今後整備されていくことと思うが、観覧車のような人を常駐させるものを作ってしまうと人件費や維持管理費が多くかかってしまうと考えられるので、人が常駐しなくてもすむようなアスレチックのようなものが出来ればいいのではと考える。</p>
<p>委員</p>	<p>また、もし可能であればまるつがのような予算が足りなくて苦労しているお祭り等に地域予算を使って支援することもいいのではと考えている。</p> <p>つがの里の看板整備について、もっと看板の数を増やすべきである。ただその際には、事務的につがの里の場所を示すようなものではなく、来園者が来園したいと思えるような、わくわくするような看板の設置を検討したい。またつがの里のイメージキャラクターを作成し、そのキャラクターをモチーフにした看板もいいのではないかと考える。</p> <p>また通学路について、近年車両が登校中の子ども達の列に突っ込む事件が発生している。栃木市にはガードレールもなく、危険な通学路が多いためその整備を行うべきである。</p>
<p>委員</p>	<p>最後に家中駅周辺の整備である。家中駅前が殺風景で寂しい感じがあるため、花を植えたりすることも検討すべきではないか。また家中駅前の自転車について、駅前に自転車を駐輪してはいけないことになっていたと思うが、家中駅に行くには自転車が必要な人も多だろう。このような状況を解決するために駐輪場を整備することが必要ではないか。</p> <p>地域のイベントで使用できるような音響設備、仮設ステージの購入が必要と考える。</p> <p>また観光資源のアピールが不足している。今後つがの里の総合公園化が進み、市内外から注目されることから都賀地域内の観光資源に関する</p>

	<p>パンフレットの増刷や観光資源情報にアクセスできるQRコードの活用を検討していくべきではないか。</p> <p>最後に赤津地区の大柿・富張地区周辺の通学路について、この周辺は民家が1キロ以上ない区間がある。大雨やミサイルへの対応の際に通学している子どもたちが避難できる場所がほとんどない。また現在存在する待避所は古いトタンで三方向を囲み、屋根を付けただけの耐久性が全くないものである。何かの際には子どもたちが安心して避難できる待避所を通学路へ設置・補修することも検討すべきだろう。</p> <p>合戦場地区にあるあいあいプラザの老朽化について、トイレや遊具が老朽化してきている。トイレについては鍵がかからない箇所やかかりづらい箇所がある。しかし、市の予算があまりないとのことで施設の職員が遊具を修理しながら使用している状況だが、それも限界が来ている。このような施設の老朽化についても対応を考えるべきだろう。</p> <p>また合戦場駅にも駐輪場がなく、駅利用者によって置かれている自転車が危険な状態である。合戦場駅は、車の往来も多く、駐輪場の設置等対応が必要だろう。</p> <p>最後に私もイベントで使用できる仮設ステージの購入を検討すべきと考える。</p>
<p>委員</p>	<p>私は、通学路の見守り活動をしているが、この前の雪の後に道路が凍結し、転倒してしまう児童がいる。転倒した際に縁石等に頭を打つなどの怪我をする危険性があるため、何か対策を講じることはできないか。</p> <p>また都賀公民館の調理室について、多くの団体があそこで調理を行い、地域のイベント等に参加するなど活動を行っている。しかし、去年の秋からガス漏れなどの関係で使用が出来なくなっている。現在私たちの団体は各地区の自治会公民館等を借りている状況である。都賀公民館の調理室を整備して是非使用できるようにしてほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>私は、都賀地域=つがの里のイメージを持っている。ふるさとセンターについて、老若男女が集まるような演劇やミニコンサート等のイベントをセンター内で開催し、集客を図っていくべきだろう。</p> <p>また、現在公園内はペット侵入禁止となっているが、公園内の一部でもいいからペットが入れるようにしてほしい。また、つがの里の起伏の多い地形を利用して、ドッグランの建設も検討すべきだろう。</p> <p>また今後のつがの里ふるさとセンターの整備について、売店の他にカフェを作ることが検討されていることもあるようだが、もしカフェを作るのであれば売店よりもカフェの比率を多くして欲しいと思う。理由としては、今後進んでいく少子高齢社会に際して、高齢者や親子連れの休息の場となるような場所が必要であると考えたためである。</p> <p>最後に、ハス池の整備事業については継続していただきたいと考えている。やはりつがの里の桜とハスは素晴らしいものであり、市内の方々に是非ご覧いただきたい。</p> <p>つがの里のハス池について、整備を少しずつ行うといつまでかかるの</p>

	<p>か分からないため、この際一気に予算を使い、整備するのもいいのではないか。</p> <p>またつがの里の案内板についても、先ほどの委員の意見のように行きたくなるような看板を設置すべきと考える。つがの里は、開園して20年以上経っているのに、そのことがあまり認知されていない。家中駅からつがの里へ行く際に案内看板があった方がいいだろう。駅からつがの里へ向かう場合、バス、タクシー以外は徒歩で向かうということになる。つがの里へ向かう際に分かりやすく、また歩いていく事が楽しみになるようなものにしたいと考える。</p> <p>私自身がスポーツをやっていることから、つがスポーツ公園の整備ということは大変素晴らしいと考えるが、地域予算の範囲内で行えるかどうか考えると難しいだろう。現在の地域予算の範囲内では、今後継続される可能性が高いハス池の整備事業や今度開催される高齢者リフレッシュ事業や昨年度開催した子育て支援事業のような事業の定例化などといった事業となるだろう。私個人としては、高齢者リフレッシュ事業や子育て支援事業の定例化について大変素晴らしいことであると考え、そのように望んでいる。しかし今挙げた事業以外の事業を検討しようとしても地域予算が限られているため、大きな事業は出来なくなってしまうだろうと考える。</p> <p>ハス池の整備事業については地域予算である程度整備できた後は、市の総合公園化の計画に対して要望を添えてそちらに任せてしまうことを検討してもいいのではないか。ハス池の整備事業を今後も継続していくとするとそれ以外の事業にはあまり予算を回すことが出来ない等の課題も多いことからその辺りも頭に入れつつ皆で検討していくべきだろう。具体的な地域課題という訳ではないが、予算を検討する際の現実的な状況を鑑み、意見を出した。</p>
<p>委員</p>	<p>つがの里のベンチが古くなっていることから、新しいベンチを整備することが必要と考える。</p> <p>また、桜とハスの時期以外にも集客が見込めるように蠟梅（ろうばい）のような冬でも見ることのできる花をこれから進んでいく工事の際に植えてもいいのではと考える。その場合は、つがの里の公園内に猪が侵入し、植えた花などが荒らされてしまう可能性が考えられることから、公園敷地を全て囲うような電気柵を設置するなど大胆な対策が必要である。</p> <p>また私の家周辺では、耕作放棄地に背の大きな草が枯れた状態で放置されていることがある。住宅の横の土地にそのような火事になる危険があるものが放置されていることは問題であり、住民からも相談を受けることがある。このような管理が行き届いていない土地の所有者へ市を通じて連絡を取れるような体制と整えてもらえたらと考える。</p> <p>最後に先ほど他の委員の意見にもあったが、雪が降った次の日は通学路が滑って危険であり、安全に通学できるように対策を講じるべきだろう</p>

委員

う。

家中小学校北側の駐車場があまり良くない状況である。雨や雪が降った後は、事故が起きない事が不思議なくらい状態が悪く、駐車場内に行くつも陥没してしまっている箇所がある。以前家中小学校の校長先生に相談し、市の教育委員会に相談してもらったが、予算がないとのことで、砂利を入れるなどの対応しかしてもらえなかった。砂利を入れてもすぐに状態は元に戻ってしまい、意味を成さない状況である。

また、通学路について、民生委員協議会の中から見守り安全隊ということで1名お願いしている。この見守り安全隊は、週3日程度自費で車を出して、通学路をパトロールするといった活動をボランティアで行っている。しかしこの活動は燃料費も出ず、自分の車を使って週3日のパトロールをお願いする状況であり、この役をお願いすることは大変心苦しい。何とか公用車を使用させてもらうことも検討してもらえないだろうか。地域予算を検討する場で挙げる話ではないことは重々承知しているが、大変苦慮している問題であるためここで挙げさせてもらった。

またつがの里について多くの意見が出ており、その通りであると感じる。みんなの意見をまとめてつがの里の総合公園の検討委員会に提出することを検討してもいいだろう。

会長

委員全員の発表を聞いて思ったこととして、大きく分けて地域予算の制度についての提案と地域予算制度では行うことが難しい地域内の困りごとの2種類であると思う。両方とも素晴らしい意見であると思う。都賀地域会議として行政に都賀地域内の困りごとなどの実情を正しく伝えてお願いしていく。このことも地域会議の大きな役割ではないか。

つがの里の整備については、公園緑地課において2、3年ほどの短期、5年ほどの中期、10年ほどの長期の3期に分けて、検討していくとのことである。また新聞等で総合公園化に関することが掲載され、その概要について皆もご承知のことと思うが、今までの都賀地域会議や総合公園化を検討する委員の皆様からで提出された意見は9割近く採用されているようである。ただ意見のほとんどが使用されているといっても先ほど述べたように10年ほどの長期的な計画内に盛り込まれているものもあるのですぐに実現するものばかりではない。そのことは委員全員承知しておいて欲しい。

またハス池の整備については、つがの里の総合公園化について公園緑地課が主導して行うこととなっているので、都賀地域会議で地域予算を使って整備していく必要はないのではないかな。

次に通学路についてだが、私も子どものことを最優先に考えて行動していくべきと考えている。この通学路の事は、地域予算とは別に考え、要望を地域会議としてまとめて文書で市へ提出してお願いしていくべきではないか。市への要望は要望として、地域予算は地域予算として別々に考えて協議していくべきだろう。まだまだ言い足りないことやこれから思い付くこともあると思うので、その辺りはまた次回の地域会議で議

	<p>論していこうと思う。一人や二人の力では実現は難しいため、都賀地域会議委員全員で力を合わせて都賀地域をより良くできるように努力していこう。</p> <p>他に意見があれば挙手願いたい。</p>
委 員	<p>今年の4月に市長・市議選挙があるが、以前都賀地域会議内でも少し話が出たように、都賀地域の市議会議員と都賀地域会議の委員が集まって都賀地域の事について意見を交換し合う場を設けるべきと考える。もちろんすぐということではなく、選挙後に行うべきと考える。</p>
会 長	<p>どなたが当選されるかはわからないが、都賀地域内の市議会議員と議論することは大変素晴らしいことと思う。</p>
委 員	<p>意見交換会を行う場合は、都賀地域の市議会議員全員を呼ぶのか。</p>
会 長	<p>全員呼ぶべきと考える。</p>
会 長	<p>他に意見のある委員はいるか。</p>
委 員	<p>これからの地域予算提案のスケジュールについて意見を述べたい。地域予算の少額の予算をどのように使うかを議論するために年に何回も何時間もかけて会議を開催することは果たして正しいことなのかと考えている。今回の会議で委員全員が意見を述べたが、大体が市への要望である。この要望を市へ正しく繋ぎ、解決へ導くことが本来の地域会議なのではないか。これからの都賀地域会議のスタイルを皆で考えていく事が必要だろう。</p>
会 長	<p>私は地域会議の役割は、市長の諮問機関でありつつ、地域の要望を市長へ届けることと、地域予算の提案の2つであると考えている。先ほどの委員の意見のように地域予算以外にも市への要望について検討することは都賀地域会議として必要なことであると考えている。</p>
委 員	<p>現在の地域会議のスケジュールでは、やはり少額の予算をどう使うかについての議論でほとんど時間が過ぎてしまう。このことについて今後は何か工夫することが必要ではないか。3月の地域会議の際にこれからの会議のスタイルについて検討し、来年度の地域会議に活かしていくべきと考える。</p>
会 長	<p>私も今回意見として挙げた駅の自転車の件もどうしていくべきか等の要望についての議論も必要だろうと思う。また実際に現地を見てどうなっているのか確認も必要だろう。地域予算について検討するといっても、会議の全ての時間を費やすのではなく、その時間の半分は地域の困りごとをみんなで共有し、市へ適切に文書でお願いしていくというスタイルを取るべきと個人的には考えるがいかか。</p>
委 員	<p>私も先ほどの会長と委員の意見のように、現在の地域会議は地域予算を使うための地域予算のための会議になっていると感じる。地域予算以外に地域の困りごとを皆で共有していきべきだろう。確かに地域予算についての議論も重要なことであるが、地域が抱える課題を把握し、議論していく事も重要である。地域会議の委員としてこれだけのメンバー揃っているのに今の会議の状態ではもったいないと感じる。</p>

<p>会 長</p>	<p>例え日当が出なくても、集まれる人で集まって実際に地域の人が困っている現場を視察するなどの行動はすべきと考える。</p> <p>これからの地域会議は、地元の要望を地域会議の委員が実地を視察した上で正しく把握し、その要望を市長への確に伝えていくことが必要になっていくだろう。</p> <p>そのような方向で平成30年度は活動していきたいと私は考えている。地域が良くなるように地域会議があるのだから、それを念頭に活動していくべきだろう。</p>
<p>事務局</p>	<p>委員の皆様から多くのご意見を頂き大変ありがたいことである。行政が出来るところは行政が、市民が出来るところは市民が、というようにそれぞれが出来るところを協力してやっていく事が必要なのではと思う。今回地域予算とは、少し違った意見もあったが、これからの会議で今回挙げた意見全て事務局で整理していきたい。その後整理した意見を精査する会議の場を改めて設けたいと思う。そこで地域会議としての意見とそれ以外の要望としての意見を分けていき、それぞれ検討して話し合う場を設けたいと思う。また市へ要望を提出する書式等についても後ほど委員の皆様を紹介したい。</p>
<p>事務局</p>	<p>次回の地域会議の開催は3月の予定である。次回の地域会議では、今回挙げた意見を事務局で整理しながら、新たな意見も出していただきたいと考えている。また4月になったら部会も併せて開催していく予定である。部会については、状況を見ながら開催数を増やすことも検討していくべきと考える。また地域予算については地域会議だよりで地域の皆様にお知らせする関係で7月にはある程度内容を確定させなければいけないので、皆様ご承知いただければと考えている。</p> <p>また今回委員の皆様から頂いた意見は大変素晴らしいものと感じている。委員の皆様はご承知のことと思うが、「地域会議委員の手引き」の11ページをご覧くださいと、地域会議からの意見書についての項目がある。そこに地域会議の役割は、地域予算提案制度を活用して地域の困りごとを地域まちづくりセンターと協力して地域づくりの事業計画書に落とし込んで、翌年度に反映していく、ということになっている。今回の会議で会長を始め、委員の皆様から出していただいた意見は地域の事を真剣に考えた大変素晴らしいものでありますが、制度上地域会議の主な役割は地域予算提案制度を活用して地域の課題を市へ投げかけることとなっている点についてはご理解いただいているとは思いますが、再度紹介させていただく。また意見については、12ページには地域協議会と地域会議の比較がある。ここには意見具申についての記載があり、地域会議が必要と認めるときには、協議し、市長に意見を述べる事が出来ると記されている。意見と要望の言葉の違いはあるとは思いますが、地域会議から市長に要望等を提出する際は、意見具申という形になることをご承知いただきたい。</p> <p>また平成27年に制定された地域づくり推進条例の見直しも始まって</p>

	<p>いる。委員の皆さんにも意見を頂戴することもあるかと思うので、その際にはより良い制度を作るためにご協力をお願いしたい。ただ今の制度上は地域予算提案制度が主な役割となるので繰り返しとなるが、ご理解いただきたい。我々地域まちづくりセンターとしても現在の制度の枠からあまり逸脱することは出来ないが、貴重なご意見はご意見として頂戴しながら皆様と会議を進めていきたいと考えているのでどうかよろしくをお願いしたい。以上補足である。</p>
<p>会 長</p>	<p>色々議論することは大切なことである。これからは予算だけではなく、地域の要望を市長に届けることや、実働組織と連携して事業を行っていくこと等について地域会議で議論していくことも重要になっていくのではないかと。</p>
<p>会 長 委員一同</p>	<p>以上で本議題については、終了としたいがいかがか。 異議なしの声あり。</p>
<p>会 長</p>	<p>それでは本議題は終了とする。</p>
	<p>③その他（情報提供）</p> <p>1）栃木駅前市有地土地利用事業者の募集について【都市計画課】</p> <p>2）意見聴取事項の回答に対する市からの回答について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栃木市環境基本計画 地域のすがたについて 【環境課】 ・つがの里総合公園化計画の策定についての意見について（回答）【公園緑地課】 ・栃木市消防団再編計画（案）の意見について（回答）【消防総務課】 <p>〈説明〉</p>
<p>会 長 事務局</p>	<p>事務局に説明を求める。 資料等に基づいて説明する。</p>
<p>会 長</p>	<p>〈質問・意見〉</p> <p>担当課の説明を受けて、委員に質問・意見を求める。</p>
<p>会 長</p>	<p>質問・意見がないため、質問・意見を打ち切る。 また本日の議事は全て終了したため、進行を事務局に返す。</p>
	<p>4 その他</p>
<p>事務局</p>	<p>①後世に残したい栃木市の文化資源48選 〈説明〉 資料に基づいて説明する。</p>
<p>事務局</p>	<p>②高齢者リフレッシュ事業の実施について 〈説明〉 資料に基づいて説明する。</p>
	<p>③平成29年度第8回都賀地域会議の開催について 〈説明〉</p>

事務局	<p data-bbox="491 159 799 192">資料に基づいて説明する</p> <p data-bbox="464 255 898 288">以上で本日の会議は全て終了する。</p> <p data-bbox="603 304 775 338">——閉会——</p> <p data-bbox="480 349 898 383">(会議終了時刻 午後 9 時 2 3 分)</p>
-----	---

別紙1 出席者及び事務局

出席者（委員）

会長	三室 一男	副会長	山田 加代子
委員	若林 正二	委員	川津 美知子
委員	大塚 紀通	委員	大塚 礼子
委員	山本 文彦	委員	辻原 正信
委員	川上 由佳	委員	落合 正
委員	飯嶋 かおる	委員	鈴木 君子
委員	田島 富美子	委員	中田 和子
委員	渡邊 政徳		

欠席者（委員）

なし

事務局

佐藤 真治	(都賀地域づくり推進課課長)
島田 和行	(都賀地域づくり推進課課長補佐)
佐藤 律子	(都賀地域づくり推進課主査)
小松 直人	(都賀地域づくり推進課主事)

その他出席者

渡辺 健一	(福祉総務課課長)
神長 利之	(福祉総務課課長補佐)
田中 勉	(福祉総務課主査)
大橋 渉	(建築課課長補佐)
越谷 慎	(建築課主任)

別紙2 会議事項

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

①平成30年度提案分地域予算提案事業について

②北部健康福祉センター（仮称）整備事業について（報告）【福祉総務課】

③その他（情報提供）

1）栃木駅前市有地土地利用事業者の募集について【都市計画課】

2）意見聴取事項の回答に対する市からの回答について

・栃木市環境基本計画 地域のすがたについて 【環境課】

・つがの里総合公園化計画の策定についての意見について（回答）【公園緑地課】

・栃木市消防団再編計画（案）の意見について（回答）【消防総務課】

4 その他

①後世に残したい栃木市の文化資源48選

②高齢者リフレッシュ事業の実施について

③平成29年度第8回都賀地域会議の開催について

平成30年3月28日（水）午後7時～ 都賀総合支所 大会議室

5 閉 会

配付資料一覧

平成29年度第7回都賀地域会議次第

平成30年度提案分地域予算提案事業について

北部健康福祉センター（仮称）整備事業について（報告）

栃木駅前市有地土地利用事業者の募集について

栃木市環境基本計画 地域のすがたについて

つがの里総合公園化計画の策定についての意見について（回答）

栃木市消防団再編計画（案）の意見について（回答）

後世に残したい栃木市の文化資源48選

高齢者リフレッシュ事業の実施について

平成29年度第6回都賀地域会議録